

ミスミグループ

2017年3月期 決算報告 と今後の取り組み

2017年5月12日
代表取締役社長CEO
大野龍隆

16年度決算の概要

為替レート (対円)	FY15 実績	FY16 実績
USドル	120.2円	109.0円
ユーロ	132.4円	119.4円
人民元	19.2円	16.2円

目次

- 1. 16年度決算の概要 2
- 2. 17年度通期連結業績見通し 9

16年度決算概要

大幅な円高を吸収、売上・利益ともに6期連続過去最高を更新
対計画においては、売上・利益ともに概ね予定通り

百万円

項目	FY15 実績	FY16		増減率	
		計画	実績	対前年	対計画
売上高	240,139	253,500	259,015	+7.9%	+2.2%
営業利益 (のれん等償却前) ※	28,228	29,500	29,421	+4.2%	▲0.3%
利益率	11.8%	11.6%	11.4%	▲0.4pt	▲0.2pt
営業利益	25,690	27,200	27,127	+5.6%	▲0.3%
利益率	10.7%	10.7%	10.5%	▲0.2pt	▲0.2pt
経常利益	25,119	26,600	26,462	+5.3%	▲0.5%
当期利益	16,907	17,800	18,387	+8.8%	+3.3%

※北米D.L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

16年度 事業別売上高

全セグメントで増収を達成

- ・ F A 旺盛な自動化需要を捉えQCT強化で高成長
- ・ 金型部品 自動車の新規型需要の獲得により、成長を継続
- ・ VONA 品揃え強化や短納期化推進が高伸長を牽引

百万円

項目	FY15		FY16	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	240,139	259,015	+7.9%	+14.6%
F A事業	76,369	84,669	+10.9%	+16.5%
金型部品事業	69,732	69,797	+0.1%	+9.2%
VONA事業	93,758	104,548	+11.5%	+16.2%
その他・調整額	279	-	-	-

※1. FY16より報告セグメント区分の変更を実施しておりますので、FY15につきましても組み替えて表記しております。
 ※2. FY16より全ての連結子会社の連結会計期間を4月開始・3月末締め統一したことに伴い、期スレ調整が解消しております。

4

16年度 事業別営業利益

金型、VONAは前期比割れも現地通貨ベースでは2桁増益
 事業毎のバラツキはあるも、概ね予定通りの着地

百万円

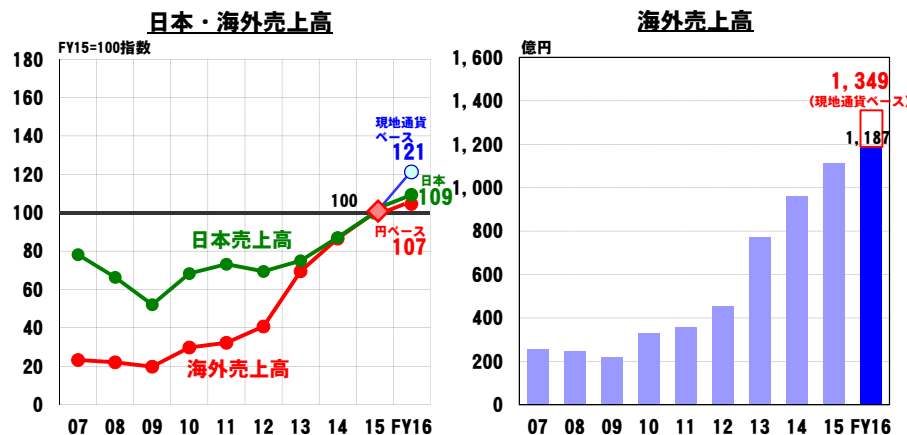
項目	FY15		FY16			
	実績	利益率	実績	利益率	対前年増減率	
					円ベース	現地通貨ベース
合計	25,690	10.7%	27,127	10.5%	+5.6%	+27.6%
F A事業	12,159	15.9%	14,417	17.0%	+18.6%	+33.9%
金型部品事業	3,464	5.0%	3,097	4.4%	▲10.6%	+23.0%
のれん等償却前	6,001	8.6%	5,391	7.7%	▲10.1%	+13.3%
VONA事業	10,249	10.9%	9,950	9.5%	▲2.9%	+22.7%
その他・調整額	▲182	-	▲338	-	-	-

※1. FY16より報告セグメント区分の変更を実施しておりますので、FY15につきましても組み替えて表記しております。
 ※2. FY16より全ての連結子会社の連結会計期間を4月開始・3月末締め統一したことに伴い、期スレ調整が解消しております。

5

16年度 日本・海外売上高

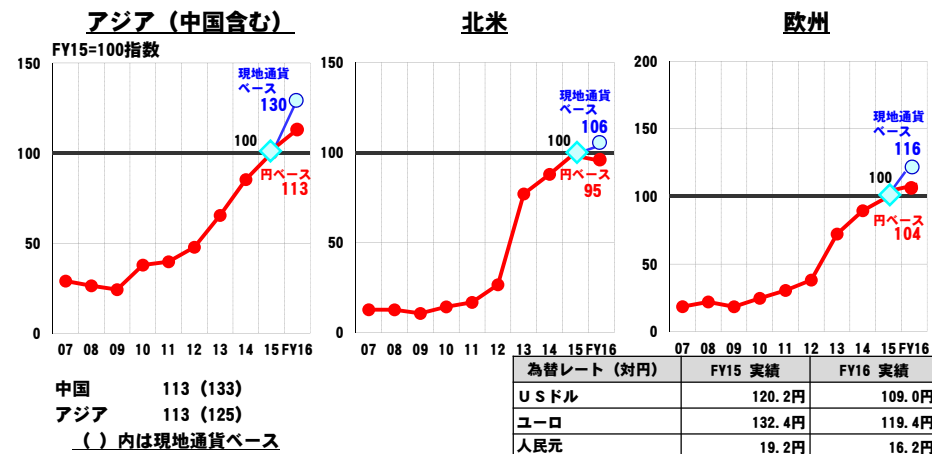
日本 VONA事業が牽引、F A事業も堅調に推移
 海外 中国・アジア・欧州を中心に好調に推移
 海外売上高は、現地通貨ベースで20%を超える成長



6

16年度 地域別売上高 (現地通貨ベース)

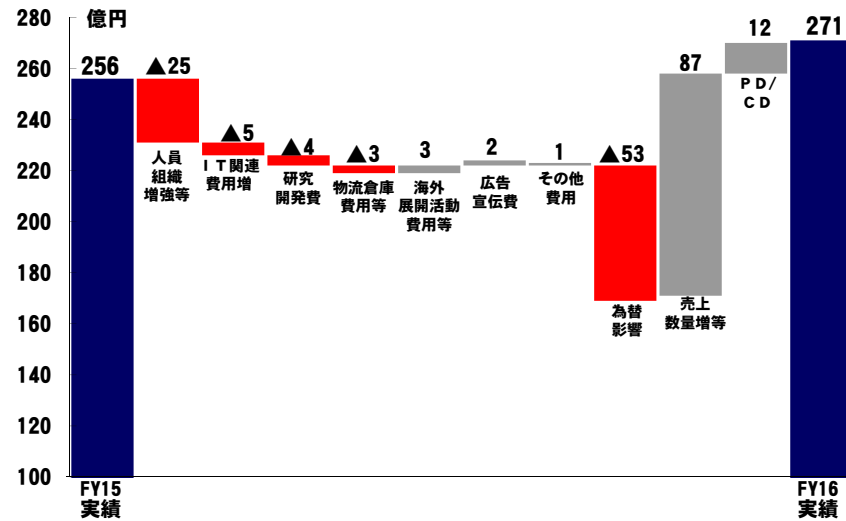
アジア 中国・韓国での顧客数増加などが大幅増収を牽引
 北米 自動車用金型需要の回復により増加
 欧州 自動車需要の取り込みが奏功し2ケタ伸長



7

16年度 営業利益増減分析

事業基盤強化に向けた人員増強等で戦略的に経費を消化
売上規模の拡大により為替影響及び経費を吸収、増益を継続



8

17年度通期連結業績見通し

為替レート (対円)	FY16 実績	FY17 計画
USドル	109.0円	108.00円
ユーロ	119.4円	116.0円
人民元	16.2円	15.8円

9

17年度通期 業績見通し

市況は堅調と見立てるも、年後半の不透明さを見込む
売上高・利益ともに7期連続で過去最高の更新を計画

百万円

項目	FY16	FY17	
	実績	計画	対前年増減率
売上高	259,015	290,000	+12.0%
営業利益 (のれん等償却前) ※	29,421	33,300	+13.2%
利益率	11.4%	11.5%	+0.1pt
営業利益	27,127	31,700	+16.9%
利益率	10.5%	10.9%	+0.4pt
経常利益	26,462	31,100	+17.5%
当期利益	18,387	21,600	+17.5%

※1. 北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益
2. 17年度のれん償却は2017年10月で終了予定 (2017年度のれん償却額 前年比▲7億円)

10

17年度 事業別売上高見通し

FAは、日本を除く全地域で2ケタ増収を計画
金型部品は、中国、アジア、欧州で2ケタ増収を計画
VONAは、日本の伸長に加え海外展開が寄与し高伸長を計画

百万円

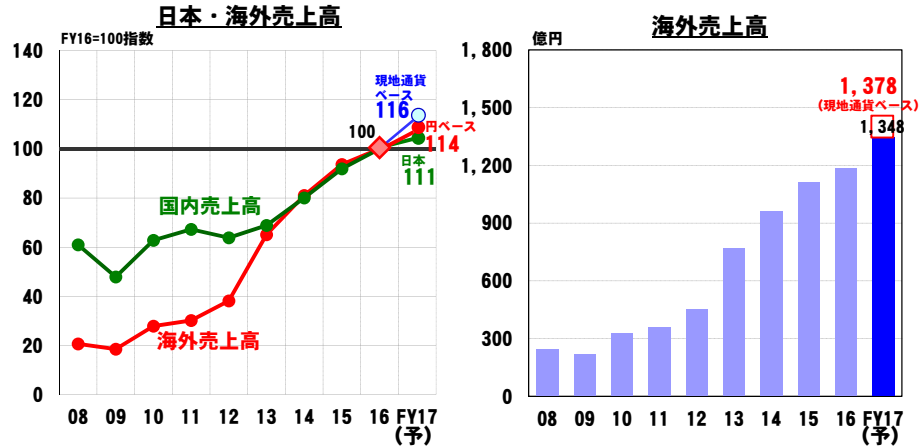
項目	FY16	FY17		
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	259,015	290,000	+12.0%	+13.1%
FA事業	84,669	92,963	+9.8%	+10.9%
金型部品事業	69,797	73,672	+5.6%	+7.1%
VONA事業	104,548	123,364	+18.0%	+18.9%
その他・調整額	-	-	-	-

※FY16より全ての連結子会社の連結会計期間を4月開始・3月末締めに統一することに伴い、期ズレ調整が解消しております。

11

17年度 日本・海外売上高見通し

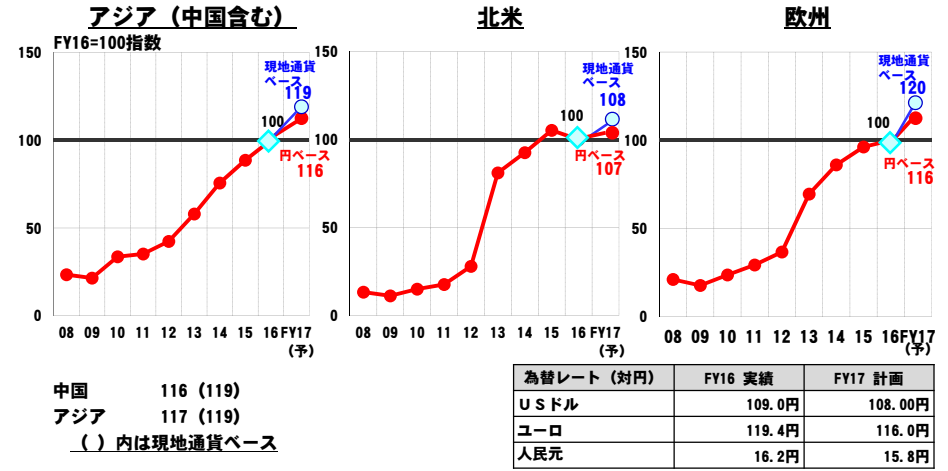
日本 VONAの高成長継続を中心に新たな需要を獲得
 海外 グローバル確実短納期の加速により高伸長を見込む
 海外売上高は、現地通貨ベース16.1%増の高成長を計画



12

17年度 地域別売上高見通し (現地通貨ベース)

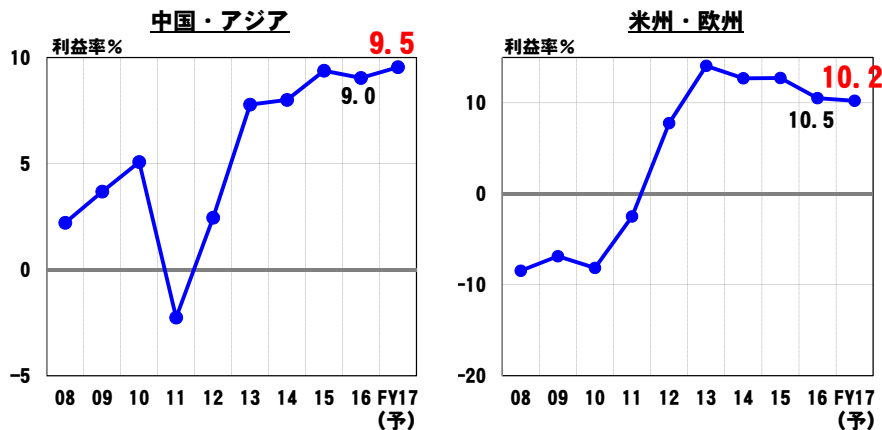
アジア 各国の確実短納期強化により高成長を見込む
 北米 自動車を中心とした金型需要の回復とF Aで伸長
 欧州 F Aの高成長継続による大幅増収を計画



13

17年度 所在地別営業利益見通し

中国・アジア 生産拠点の効率改善や調達コスト削減が寄与
 米州・欧州 DL社拠点の稼働促進により高い収益性を維持

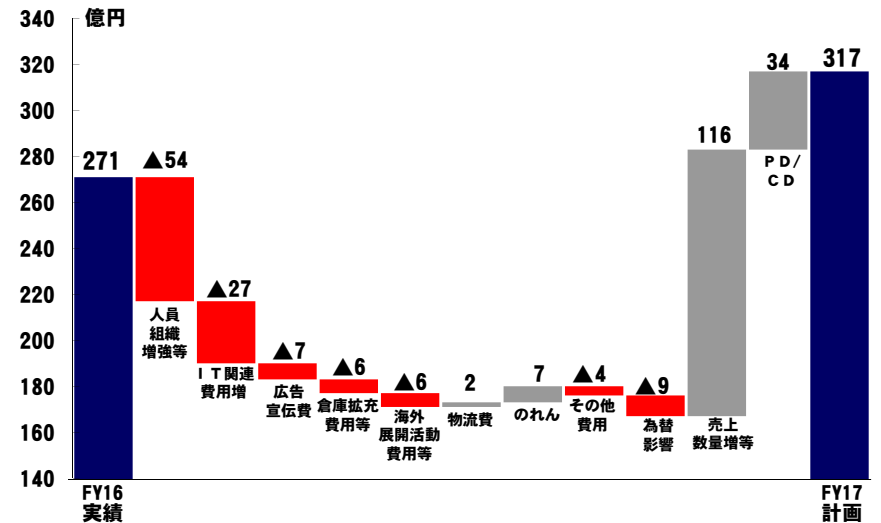


※ 1. 所在地別営業利益に基づく
 2. 12年度より米州・欧州合計と中国・アジア合計の2地域別で営業利益(率)を表記
 3. 北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益を元に算定

14

17年度 営業利益増減要因(前年比)

事業基盤強化のため、組織、IT関連等攻めの出費を継続
 積極投資を販売増により吸収、最高益更新を計画



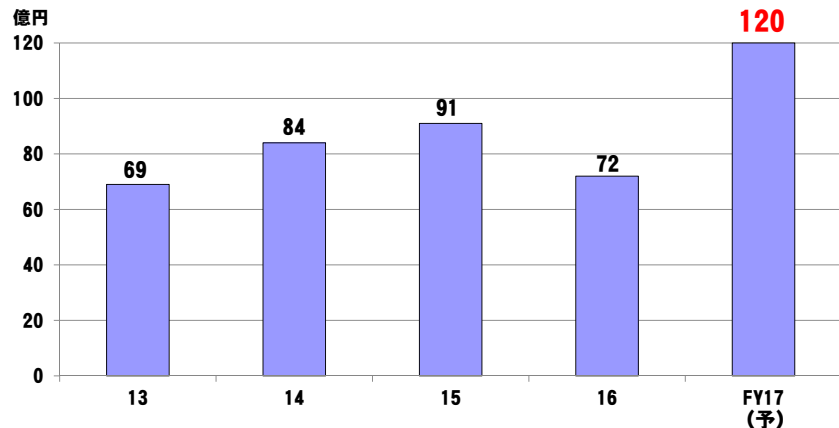
15

設備投資計画

16年度実績は72億円

17年度は前年比で大幅増となる120億円を計画

設備投資の推移

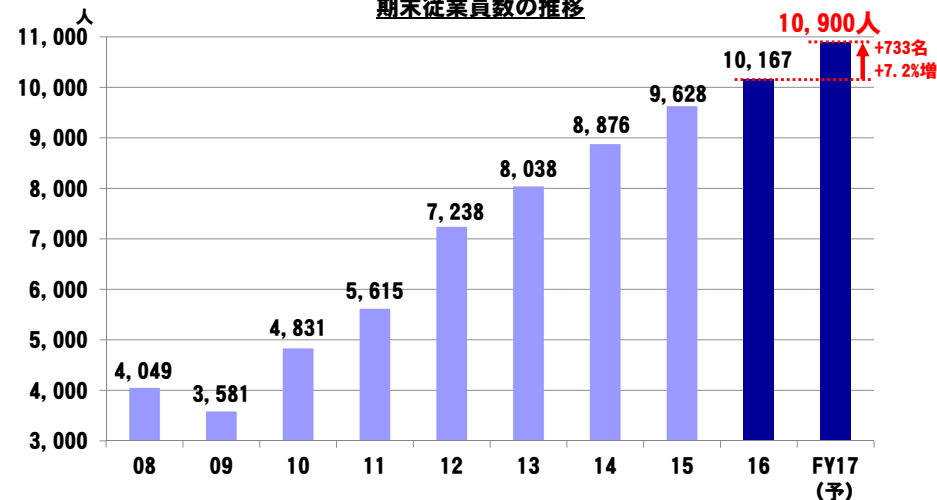


16

人員の強化

海外の生産・物流拠点、IT関連を中心に組織増強を実施

期末従業員数の推移



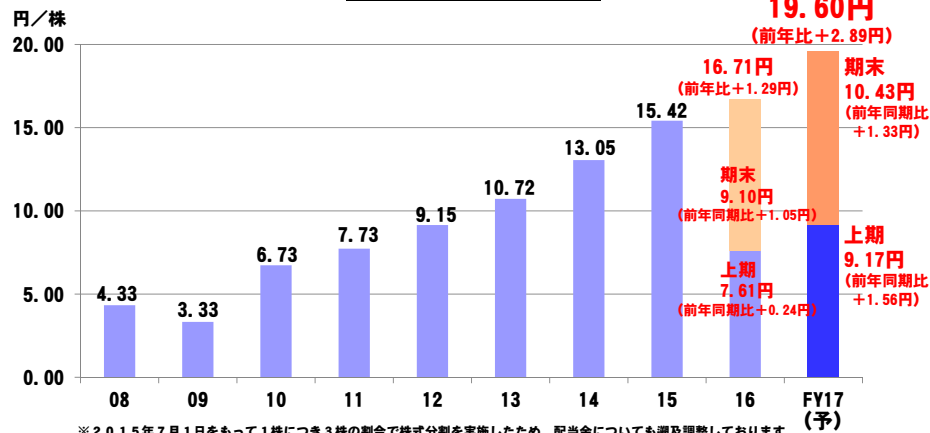
17

株主還元

16年度は、通期16.71円の配当を実施予定

17年度は、通期19.60円と7期連続で過去最高を更新予定
好調な業績を背景に連続増配を実現 (配当性向2.5%基準)

1株当たり配当金の推移

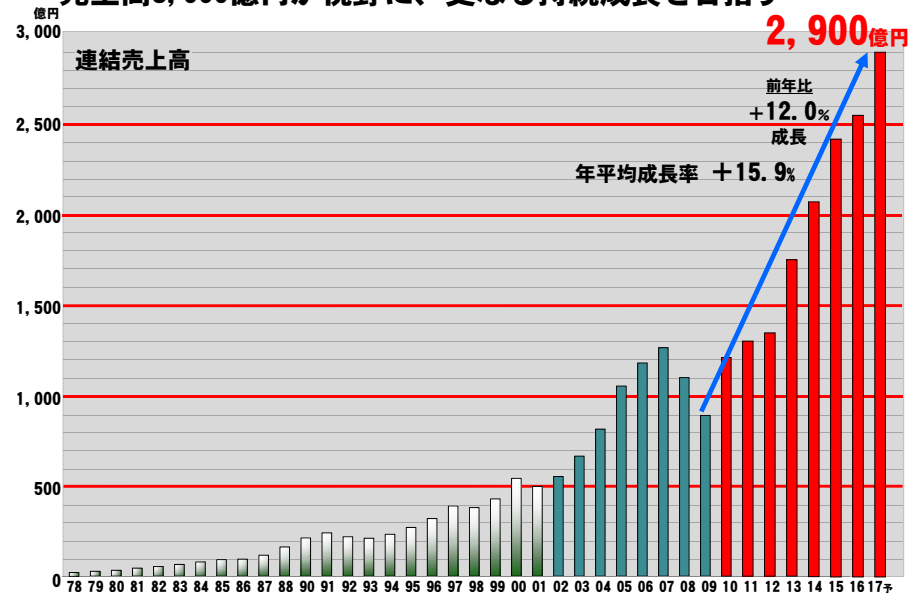


※2015年7月1日をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、配当金についても遡及調整しております。

18

まとめ

売上高3,000億円が視野に、更なる持続成長を目指す



19